

ヤクルトヘルスフーズ株式会社 様

VDI環境からの移行で業務効率UP!
Shadow Desktop導入で大幅なコスト削減とセキュリティ強化を実現

リモートワーク時の情報漏洩対策



ヤクルトヘルスフーズ株式会社

<https://www.yakult-hf.co.jp>

営業開始	2009年4月	業種・形態	健康・機能性食品・飲料の製造、販売
代表者	代表取締役社長 蝦名 秀昭	従業員数	115名 2024年4月時点
資本金	9千9百万円		

＞ ヤクルトヘルスフーズ株式会社
総務部 主任
船橋 様

導入の目的 (🎯) セキュリティ対策におけるコスト削減

■ 企業概要と所属部署

船橋様：「私たちは、生命科学を基に、健康と食の機能を追究して、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念を掲げており、主に健康食品の製造・販売を手がけています。青汁をメインで扱っており、その他にもサプリメントも取り扱っています。私の主な業務はITツールの導入やネットワークの管理など、システム関連の業務が中心です。総務部全体としては労務管理や就業規則の改定など、総務的な業務も幅広く担当しています。

現在は社員数が100名を超えてきており、システム面だけではなく、労務面も含めてさまざまな施策を実施しています。



総務部 主任 船橋 様

BEFORE

■ 抱えていた課題

船橋様：当社は2015年頃からセキュリティ対策としてVDI環境を導入し、昨年まで継続して使用していました。実際に導入当初は利用者が少なかったので大きな問題はありませんでしたが、社員数の増加に伴ってネットワーク負荷が増大してしまったのです。さらに、コロナ禍でWeb会議や共同編集といった作業が増えたことで、ネットワークの遅延やVDIの接続問題が発生するようになってしまいました。日中の時間帯に接続が切断されて再接続できないケースもあり、VDI環境の見直しが必要だと感じていましたね。そしてVDIサーバーの入れ替え時期となり、それに伴う費用を試算し

てもらったところ、年間コストが現状より大幅に増加することが判明したのです。さらに通常のランニングコストも多額の費用が発生していたため、セキュリティを確保できる別の方法を検討し始めました。セキュリティ面では、特に一般的なウイルス対策などの課題がありました。フィッシングメールの添付ファイルを開いてしまったり、ウェブサイトや広告をクリックして危険なアラートが表示されたりするケースがありましたね。

裏面へつづく

■ データレスクライアントに着目した背景

船橋様：2023年10月の展示会でたまたまShadow Desktopのブースを見かけました。データレスクライアントという仕組みについてはインターネット広告などで存在を知っていましたが、具体的な事例や状況はわからなかったため、ブースに立ち寄ってお話を伺いました。もともとVDIを導入した際の大きなメリットの1つが「パソコン上にデータがない」ということで、当社のデータ漏洩対策においても非常に大きな意味がありました。そのような点においてはデータレスクライアントも同じだったため、VDIと同等のセキュリティが担保できるかどうかを見極めたいと考えていましたね。展示会でShadow Desktopの担当者さんのお話を聞くなかで、コスト面や機能面で当社のニーズに合っていると強く感じました。

■ Shadow Desktopを選んだ理由

船橋様：データレスクライアントのサービスを提供している会社をリストアップし、3社ほどのサービスを検討しました。最終的に

Shadow Desktopを選んだ理由は2つあります。1つ目は、当社の課題を解決できることに加えてMicrosoft 365との連携が容易である点です。前年にMicrosoft 365を導入していましたが、OneDriveなどの機能を十分に活用できていなかったため、この連携面は非常に重要でした。2つ目は、他社製品と比べてセキュリティ設定がシンプルだった点です。他社製品の中には、ツールを入れた後の具体的な操作方法や初期設定が非常に複雑なものもありました。さらに、マニュアルが分かりにくいものが多かったように感じていましたね。Shadow Desktopは導入が簡単で、インストールしてMicrosoft 365と連携するだけですぐに使えるという点は大きな魅力でした。



総務部主任 船橋 様

AFTER

■ Shadow Desktop導入による効果

船橋様：Shadow Desktopを導入して最も効果を実感したのは、ユーザーの使い勝手が大幅に向上した点です。特にWeb会議の接続安定性と速度が大幅に向上しました。VDIでは頻繁に遅延が発生していましたが、Shadow Desktop導入後は接続問題が解消され、ユーザーからも「ストレスなく使えて嬉しい」との声が多く寄せられています。管理者としても、直感的に操作できる点が優れていると感じています。OneDriveの容量制限の設定やWi-Fi利用環境の制限など、さまざまな設定を簡単に変更できる点が非常に便利です。特定の環境下でのみWi-Fiを使用できるように制限する設定や、セキュリティ面でPCの紛失時にすぐにワイプ（データ消去）をかけられるなど、管理機能が使いやすくなっています。導入前の検証時に1台のPCを停止させましたが、その際もスムーズに操作できたので、大きな安心感がありました。

■ Shadow Desktop導入によるコスト削減効果

船橋様：Shadow Desktopの導入は、コスト面でも大きな効果がありました。VDIサーバーの維持費用が不要となり、大幅なコスト削減を実現したのです。またShadow Desktopは専用のハードウェア構築が不要でライセンス費用だけで導入できたので、初期投資も大幅に抑えられています。この費用対効果の高さは、総務部としても経営陣への説明がしやすく、導入の決め手になりました。

■ カスタマーサポートへの評価

船橋様：Shadow Desktopのサポート対応は非常に迅速で、些細な問い合わせにも迅速に対応いただけるので大変助かっています。最近も動作面について問い合わせをしたのですが、結果的にShadow Desktop側ではなくPC側のOSの問題だったことを素早

く調査していただきました。また導入前には、Shadow Desktopの担当者さんに当社の課題を丁寧にヒアリングしていただき、それに対してShadow Desktopがどのように解決できるかを具体的に説明していただいたことが印象に残っています。当社の課題に対し、適切なツールを明確に提案いただいたことは、導入の大きな決め手となりました。導入までのプロセスもスムーズで、私たちの質問や懸念事項にも親身に対応していただきました。導入からその後のサポートまで、他社製品と比較してもShadow Desktopの対応の良さは際立っていたと感じましたね。

■ 今後の展望

船橋様：現在は基本的に出社がメインですが、今後はリモートワークなど多様な働き方の推進にも活用していきたいと考えています。また、BCP（事業継続計画）対策としても重要な役割を果たすことを期待しています。災害などの緊急事態で出社できない状況でも、Shadow Desktopを入れたノートPCを主要メンバーに配布すれば事業継続が可能になるためです。Shadow Desktopの導入によって、セキュリティ面での安心感と操作性向上の両立を実現できました。現状では使い勝手にも満足しており、特に大きな要望はありませんが、引き続きセキュリティと使いやすさのバランスの取れたサービスであってほしいと感じています。今後、EC販売などの事業を拡大するなかで個人情報など高いセキュリティが求められるデータを扱うようになれば、さらなる制御やセキュリティ対策が必要になるかもしれません。業務形態が刻一刻と変化していくなかで、新たなセキュリティ要件が発生すること考えられますが、Shadow Desktopはそういった変化にも柔軟に対応できると期待しています。

